

# 令和3年度 小浜市立西津小学校スクールプラン

## 【小浜市教育に関する大綱】

食育文化都市にふさわしい郷土を愛する心を培い、新しい時代を生き抜く「志」高い人材を育成する。

## 【小浜市学校教育方針】

郷土を愛し、よりよい小浜と日本の未来を創造しようとする児童生徒の育成をめざす。

## <学校教育目標>

豊かな人間力をもち、未来をひらく子どもの育成  
～ やさしく かしく たくましく 西津を愛する子 ~

## 【児童の実態】

- ・明るく素直でよく遊ぶ
- ・他学年と仲良く交流できる
- ・自分の考えを伝えることが苦手

## 【保護者・地域・教職員の願い】

- ・認め合い 助け合い 思いやりのある子
- ・夢や希望をもち、自ら意欲的に学ぶ子
- ・ふるさとに愛着をもてる子

めざす  
児童像

やさしく  
人間性  
豊かな子

かしく  
自ら考え  
学び合う子

たくましく  
心身ともに  
健康な子

西津を愛する  
ふるさと  
大好き子

## 【重点目標】

### 人間性豊かな子

- (1) 自己肯定感をもち、互いを認め合い、思いやり、つながる児童の育成
- (2) 「時を守り、場を清め、礼を正す」心の育成
- (3) 主体性・自浄作用を促す活動の推進

### 自ら考え、学び合う子

- (1) 3S学習とICT活用のベストミックスを図る実践を展開し、主体的・協働的に学ぼうとする児童の育成
- (2) 基礎学力の定着と活用力の向上
- (3) 読書活動の充実

### 心身ともに健康な子

- (1) 健康で安全な生活意識と危機回避能力をもつ児童の育成
- (2) 運動の習慣化と基礎体力の向上
- (3) 家庭と連携した望ましい生活習慣の確立

### ふるさと大好き子

- (1) ふるさと小浜・西津に愛着をもつ児童の育成
- (2) 地域の人たちとの積極的な交流活動の充実

## 【具体的な取組】

- ・友達も自分も大切にできるように、自己有用感を高める活動を各学級で行う。
- ・身のまわり(ネット利用も含む)の差別や偏見に気づき、学活や道徳の時間を中心に、人権(いじめ・情報モラル・コロナ差別など)について、児童が考え議論する時間を確保する。
- ・児童会活動で、児童の主体性を生かしたあいさつ運動と清掃活動を行う。
- ・代表委員会を組織し、児童自身で「児童のめあて」や「生活目標」を立てることで、自治活動を活性化させる。
- ・異学年交流活動(縦割り班活動・ペア学年)を年間計画の中に位置づけ、計画的実施する。

- ・学習場面でICTを活用することの習慣化を図る。
- ・3S 学習の「みんな調べ」の中で効果的にICTを活用できるように、実践を積む。
- ・「読み・書き・計算・話す・聞く」を学習の基礎・基本と捉え、ドリルタイムや朝の会等の場で継続して取り組み、力の定着を図る。
- ・身につけた力を、委員会や縦割り活動、行事等で活かせるように、場を設定する。
- ・学年のおすすめ本や巡回図書等で、読書の幅を広げながら、計画的に読書活動を展開する。

- ・児童会活動を軸として、「新しい生活様式」を意識した取り組みを行い、手洗いや換気の徹底について、自分たちで気づき、行動できる児童を育てる。
- ・朝運動(ラジオ体操、ランニング、なわとび)を行う。体育の時間を中心に柔軟性と握力の向上を図る。
- ・点検カードで生活習慣とネット利用についてのふり返しを行う。家族との関わりを増やすために自ら考えた「我が家のルール」を意識して取り組めるよう声かけする。

- ・生活科・総合的な学習の時間を軸に、系統的な「ふるさと学習」を通じて、西津の歴史・文化・産業・人々について調べたり、自分の思いを発信したりすることにより、「西津が大好き」と思える児童を育てる。(調べ学習・探究活動)
- ・全学年が目的意識をもって臨める「ミニ遠足」を児童の手で企画運営する。
- ・カリキュラムマネジメントの視点から地域の方々との交流活動を積極的に進める。
- ・「シルバーカフェ」を窓口、全学年で公民館と双方向の連携を推進する。

## 【数値目標】

- (1) 友達との関係が良く、学校が楽しいと思える児童90%以上をめざす。
- (2) 「相手を意識した気持ちのよいあいさつができた」と言える児童 80%以上をめざす。

- (1) 「ICTを活用した学習に意欲的に取り組めた」と言える児童80%以上をめざす。
- (2) 「『読み・書き・計算・話す・聞く』の学習に意欲的に取り組めた」と言える児童80%以上をめざす。

- (1) 「感染症を予防するために自分で考えて行動できた」と言える児童90%以上をめざす。
- (2) 「体を動かすことが楽しい」と言える児童90%以上をめざす。

- (1) 自信と根拠をもって「西津が大好き」と言える児童 90%以上をめざす。
- (2) 課題解決のために、地域の方と交流し、情報を活用できる児童 80%以上をめざす。

<業務改善のための取組> ①会議時間 80 分以内の徹底とペーパーレス化  
②ICT 機器を活用した事務処理や伝達事項の効率化

③スクラップ&ビルドの視点を持ち、新しい取組を入れる際には既存の取組をやめる。  
④毎水曜日(ノー残業デー)の一斉退勤時刻 18:00、17:30(冬季)